

広報

にしあいつ

No. 647

9

2012

(平成24年)



連峰を歩き飯豊本山制覇

P 2～5 特集 第50回いいで集い
飯豊の魅力に誘われて

P 6～7 9月は防災月間
もしもの場合への「備え」

P 8～9 二十歳の旅立ち
平成24年度成人式

P 10 -シリーズ- 伝承員「技」紹介



特集

第50回いいでの集い

飯豊の魅力に誘われて

「東北のアルプス」とも呼ばれる飯豊連峰の山岳自然美を探勝

日本百名山の一つ飯豊山を主峰に大日岳や御西岳など2000メートル級の山々が連なる飯豊連峰は、本県と山形、新潟の3県にまたがり、古くは信仰の山として親しまれ、一人前の大人になる慣習儀礼として、白装束で若い男子が挑んだ山である。登山道には女人禁制の決まりを破って登り、石になったと伝えられる「オンバ様」の石像があり、また、本山小屋の隣には飯豊山神社があり、豊かな自然と歴史の魅力を持つ奥深い登りごたえのある良い山だと評価する人が少なくない。この飯豊連峰に登頂する「いいでの集い」が今年50回目を迎え開催された。27日の午前8時、祓川山荘を

第50回の節目の開催となった今年度の「いいでの集い」は7月27日から29日に行われ、町内や県内のほか東京都、神奈川県、北海道などから参加した登山愛好者50名が山岳自然美を探勝した。飯豊本山を目指した2日目、山頂には残念ながら雲がかかっていたが、天候は3日間とも穏やかで、50回目の開催を歓迎しているような絶好の「いいでの集い」となった。



①飯豊本山までの難所「御秘所」／②本山小屋手前の御前坂／③・⑦急な上り坂が続く松平峠／④疣岩山～三国小屋間／⑤草履塚手前に残る雪渓／⑥十森付近のブナ林／⑧全体交歓会の模様／⑨いいでの王様・女王に選ばれた田中茂さん・眞佐代さん夫妻（栃木県宇都宮市）／⑩功労者として感謝状の贈呈を受けあいさつする小野木伸夫さん（9の2町内・西会津山岳会初代会長）／⑪同・大田原謙司さん（いわき市・藤原山の会前代表）／⑫同・三瓶常夫さん（山浦・西会津山の会会長）



出発し、ブナ林を抜けると景色が開けた。松平峠から疣岩山の山頂にたどり着くまでは長く急峻な上り坂が続き、途中、岩場も多く、宿泊（2泊）する切合小屋までおよそ7時間かかると全員が登りきった。参加者は、谷から吹き上げる心地よい冷たい風の後押しされ、雄大な眺望に目をやりながら、一步一步険しい登山道を踏みしめ小屋を目指した。

2日目は飯豊本山、御西岳、最高峰の大日岳登頂の3組に分かれ、切合小屋を午前6時すぎに出発した。尾根筋ではイイデリンドウ、満開のニコウキスゲなどの花々が登山者を迎え、参加者は飯豊の大自然に魅了されていた。

今年の「いいでの王様・女王」には、今回の飯豊山登頂で日本百名山をすべて制覇した田中茂さん・眞佐代さん夫妻が選ばれ、また3日目の下山後、旧弥平四郎分校で行われた解団式では、これまでの「いいでの集い」開催に尽力した小野木伸夫さん、大田原謙司さん、三瓶常夫さんに伊藤町長から感謝状が贈呈された。

飯豊の魅力に誘われて

「いいでの集い」を支えてきた3人に聞く



三瓶 常夫(さんぺい つねお)さん
西会津山の会会長 [山 浦]

半世紀にわたり開催されてきた「いいでの集い」。

昭和36年に第1回の集いが行われ、これまで多くの方が参加し飯豊に挑んできた。

この間、昭和41年には松平峠から疣岩山までの新ルートが開通し、昭和44年には自然を守りながら観光開発の検討を行うため本県、山形、新潟の関係者で構成する国立公園飯豊地区観光開発連絡協議会の現地調査が行われた。その後、昭和48年には祓川山荘が完成し、この半世紀の間、当時の木村守江知事をはじめ、平成3年に開催された「飯豊サミット」では佐藤栄佐久知事、飯豊山周辺市町村長、登山家の田部井淳子さんが登頂した。西会津山岳会、西会津山の会は、こうした活動をサポートし、また、登山道や環境の維持・保全にあたってきた。今回は「いいでの集い」を支えてきた3人に飯豊の魅力などを伺った。

三瓶さん—西会津山岳会の一員として、昭和54年の第19回の「いいでの集い」のころからかわり飯豊に登ってきた。

西会津山岳会当時、私を含め2人だけで「いいでの集い」をサポートし、数年登ったことがあった。今思えばよく2人でこなしたと思う。

その後、若いメンバーが加わり、西会津山の会を結成し、今年で15年がたった。

これまで飯豊には50回くらい登ってきたが、初めて登ったときは苦しく、切合小屋に着き高山病のような症状になった。

思い出は語り尽くせないほどある。きつい行程で下山したのか疣岩山付近で倒れ込んでいる人がいたため、担架をつくり三國小屋手前の平坦地まで搬送して戻り、自衛隊のヘリで救助してもらったことがあった。また、下山時に転んで捻挫した登山者を5、6人で交代しながら背負

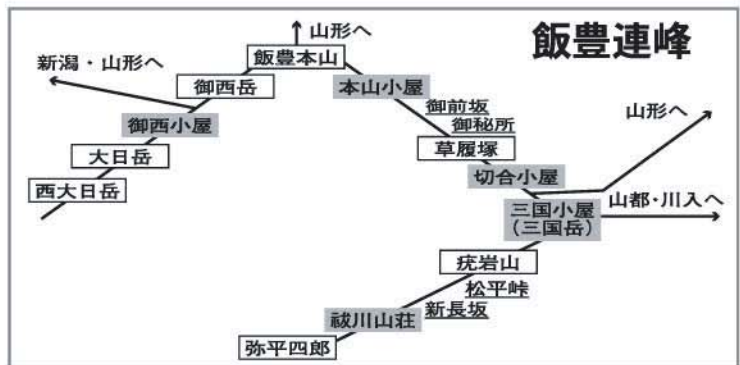
って下山したこともあった。そのときは、豆粒のような汗が噴き出した。このように険しい山であるが、飯豊の魅力は、花が豊富なこと。疣岩山から弥平四郎に下るあたりの花は見事だ。また、雪渓を下る野生のクマや、毛並のきれいなキツネなど、野生の動物の姿を目の当たりにできる。大自然の中でリフレッシュし、仲間たちと山で酌み交わす酒もまた格別である。

近年は、大日岳まで行けることが多いが、悪天候のため御西岳や大日岳まで行くことができないことが数年続いたことがあった。そのようなとき、小屋の中で班ごとに出し物を行う演芸会を実施したことがあり、思い出に残っている。

山頂では、雲が下になるため雷は足元を走る。台風で飯豊山神社の屋根が吹き飛ばされたこともあった。

西会津山の会を結成以来、会長を務めてきた。メンバーのみんなは事故が起きないように話し合い一生懸命にしっかりと活動してきてくれた。

毎回、下山するときには「また来年登って来ます」と、山に今後一年の誓いを立てる。今後無事故で「いいでの集い」を続けていくことができればと思う。





小野木 伸夫(おのぎのぶお)さん
西会津山岳会初代会長[9の2町内]

小野木さん―国体の山岳競技部門が昭和26年に飯豊山で開催され、山都の川入から飯豊本山上に登り、弥平四郎に下山したのが飯豊への初めての登山である。当時は、松平峠から下る現在の新長坂登山道が整備されていなかったため、代塚山を経由し弥平四郎に下山した。弥平四郎から徳沢までの交通手段はトラックであった。

その後、みんなに呼びかけ西会津山岳会を立ち上げ、昭和36年に第1回の「いいでの集い」を開催する運びとなった。当時の集合場所は徳沢や役場奥川支所で、弥平四郎に1泊し、翌日徒歩で祓川へ、結団式を行ったあと昼食を取って登り始めた。これまで多いときは参加者が約150名を数え、参加者が三國小屋と切合小屋に分泊することもあった。

常に全員無事に下山し、参加者が帰路につくまでは気を抜くことができなかった。また、現

在の新長坂ルートの整備、疣岩山尾根コースの開発、祓川山荘の建設などにもかかわってきた。飯豊は尾根までのアプローチがとても長く、また高山植物の宝庫だ。夏山も良いが、残雪が多い5月から6月、9月の紅葉のシーズンも良い。霧が途切れるシャッターチャンスをとる2〜3時間待ったこともある。150回ほど登った中で、平成3年の「飯豊サミット」では下山のリーダーを務め、佐藤栄佐久知事と話しながら山を下ったこと、また、めったに見れないヤマイタチの「オコジョ」に遭遇したことが強く印象に残っている。

今後、県内外の若い人たちにどれだけ魅力を伝えられるか、動植物のガイドの充実、また西大日岳方面や、御西岳から新潟、山形方面に向かう裏コースにも魅力はある。「半世紀 飯豊の尾根を駆けた我」、「青春時 山の彼方が我を呼ぶ」。いいでの集い50周年にあたる私の心境である。

西会津山の会に入ってから5年、50回目の今回も班長を務め、最高峰の大日岳まで登ることができた。

何度も登ってきたが、やはり初日は不安だった。参加者が体調を崩したり、事故が起きるのは初日が多いため。班長を引き受け参加者の疲れが最小限になるようにペース配分や食事に気

を配った。

当日までの準備は大変だったが、参加者から「このように楽しい登山は初めて」と飯豊を満喫し、楽しんでくれたことが一番。

何よりも山の会の仲間のバックアップがあったから安心して班長を務めることができた。

最近、飯豊が女人禁制の山であった理由が何となく理解できるようにになった。登山道や水場、小屋が整備されていなかった時代に、身を清め、相当な覚悟で登ったに違いない。

この「いいでの集い」がこれまで50回継続されてきたことは本当にすごいことだと思う。

しかし参加者が減ってきているのも事実。現在、山岳診療所をモデルにしたドラマが放送されているが、若い女性や中学生に山の魅力を伝え、山に登ってみたいという人が増えるようなきっかけづくりが重要だと思う。



猪俣 典子(いのまたのりこ)さん
西会津山の会 [小山]

猪俣さん―西会津山の会のメンバーから安達太良山の登山に誘われ、このとき山の魅力を感じたことがきっかけで、平成10年、初めて地元の「いいでの集い」に参加した。

この登山で山頂の雲海、多様な花に感動し飯豊のとりこになった。飯豊の魅力は、花、野鳥、グレーのウサギなどの動植物。雄大な眺めは絵画のようで、幻想的な風景には目を奪われる。奥深い山だと思ふ。一度だけだけ山都の川入からも登ってみたいことがある。



昨年7月の新潟・福島豪雨時の山郷発電所下流

もしも 災害から自分や家族を守る の場合への「備え」

日ごろからの

備え①

災害情報を確認し行動

災害が発生したとき、的確な行動を取るためにはテレビ、ラジオ、インターネットなどから正確な情報を得ることが重要です。

町では、災害の危険性が高まったとき、防災行政無線やケーブルテレビなどを通じて、最新の災害発生状況や被害状況などを町民の皆さんにお知らせします。

日ごろからの

備え②

避難場所・避難経路を確認

町では、万が一の災害発生に備え、町内に避難場所を指定しています。

指定避難場所は、町で配布した「防災対策ガイド」に記載されていますので、ご確認ください。また、日ごろから身の回りの危険箇所を調べておくことや、指定避難場所・安全な場所に向かう避難経路などを地域の皆さんで話し合い、確認しておくことが大切です。

非常持出品

万一の災害に備え、必要なものを3日分程度準備。飲料水は1人1日3リットル程度、食料品などは定期的に点検しましょう。

必需品

- 非常食
- 飲料水
- 懐中電灯・電池
- 携帯ラジオ
- 貴重品
- 衣類・下着類
- 救急医療品
- 軍手など

必要に応じて

- ちり紙・ウエットティッシュ
- 粉ミルク・ほ乳瓶・紙おむつ
- 雨具・ヘルメット
- 携帯ナイフ・缶切り
- 使い捨て食器
- ろうそく・マッチ
- 石けん
- 使い捨てカイロ



日ごろからの

備え③

非常持出品を準備

災害発生時には、急いで避難することが想定されます。

いざという時のため、常日ごろから家庭で「非常持出品」を準備しておくことが重要です。赤ちゃんがいる家庭など家族構成により非常持出品は異なります。非常持出品には、右のような物がありますので参考にしてください。

徳沢自治区長

いのまた しずや
猪俣 静也さん



徳沢では、昨年の新潟・福島豪雨により3棟の建物が浸水しました。

高齢者世帯などには前日から避難を呼び掛け、一時、7世帯が集会所に自主避難しました。さらに奥川橋が通行止めとなり、相当な被害が発生するかと思われました。徳沢は現在47世帯で、このうち17世帯が一人暮らし世帯になっています。集中豪雨によって避難所となる集会所まで河川が増水することも考えられます。今後は要援護者への対応をはじめ、二次避難所などについても考えていかなければならないと思っています。



同・上野尻発電所下流側



西会津町消防団長

えがわ しんじゅ
江川 新壽さん

昔から100年に一度は大災害が発生するといわれてきました。近年、地球温暖化により予期せぬ自然災害が発生し、また、

東日本大震災をはじめ、新潟・福島豪雨、豪雪と災害が多発する中、災害現場の第一線を担う消防団の果たす役割は、ますます大きくなっています。

しかし現在、団員の減少により地域防災力の低下が懸念されています。町消防団では「自分たちの町は自分たちで守る」という郷土愛護の精神で、関係機関と連携し防災力の向上に努めていきます。今後も消防活動、予防消防にご協力をお願いします。



西会津消防署長

はせがわ しゅういち
長谷川 秀一さん

昨年、西会津町は新潟・福島豪雨により甚大な被害を受けました。町内各地で道路の決壊や土砂崩れが発生し、また住宅が浸水し、天変地異の恐ろしさをまざまざと見せつけられました。さらに近年は局地的な集中豪雨が発生する傾向にあります。

西会津消防署では、自治区単位の自主防災組織の育成・強化に努めるとともに、防災訓練への積極的な参加を呼び掛け、町民の皆さんが安全に安心して生活できるよう、今後も関係機関と緊密に連携し、風水害による被害を軽減するため、万全な体制の確立を目指していきます。

要援護者への対応

高齢者をはじめ、障がい者、傷病者、妊産婦、乳幼児、児童など、災害時に正確・迅速な行動を取りにくい人たちが（災害時要援護者）を災害被害から守るために、みんなで協力しましょう。

一人暮らしの高齢者などには、普段から声を掛け合い、隣近所で話し合ってお互いの協力を確認しておくことが大切です。



家具の転倒を防ぐ

地震による被害を減らすため、家具やガスボンベなどは、壁にしっかりと固定するなど転倒を防ぐ対策を行っておきましょう。

また、家の内外をチェックし、ひび割れや破損など、危険な箇所がないかを点検し、必要があれば修理や補強を行っておきましょう。

※以上の「日ごろからの備え」については、「町防災対策ガイド」に掲載されていますので、ご確認ください。

日ごろからの

備え④

日ごろからの

備え⑤

災害時連絡先

災害対策本部	西会津町役場	45-2211
火事・救急	119 西会津消防署	45-3119
警察	110 喜多方警察署	0241-22-5111
	西会津交番	45-2049
	奥川駐在所	49-2026
医療	西会津診療所	45-4228
	群岡診療所	47-2025
安否等確認	171 NTT災害用伝言ダイヤル（災害時のみ）	

祝 平成24年度 西会津町 成人式



二十歳の旅立ち

平成24年度 成人式

今年度の成人式が8月15日に西会津中学校多目的ホールで行われました。
新成人の皆さんは決意を新たに成人としての第一歩を踏み出しました。

20年」のビデオ上映が行われました。

式では、はじめに新成人代表の岩原隼さんに成人証書が、原マリ子さんに記念品が伊藤町長から贈られました。

続いて伊藤町長が「東日本大震災・福島第一原子力発電所事故の発生により本県は逆境の中にありますが、自らの目標を見失うことなく、社会に、人々に、愛する心に学び、しっかりと歩んでください」と式辞を述べました。

次に、武藤道廣町議会議長が祝辞を、恩師の江花明久さんが激励のことばを述べ、星善之さんが「私たちには日本や世界が抱える問題を克服し、明るい未来を次世代につなげる重大な責務があります。大きな障壁にぶつかることがあるかもしれませんが、決して焦らず、周りとの協力しながら粘り強く問題解決に取り組みむ大人になりたいと思います。成人としての自覚と決意を胸に、これからの人生を力強く歩んでいきます」と誓いのことばを述べました。

今年成人を迎えたのは、平成4年4月2日から平成5年4月1日まで生まれた方で、成人式には83人が出席し仲間との再会に歓声を上げていました。
式典に先立ち会場では、模擬選挙の投票や町ケーブールテレビが制作した「わたしのメモリー

式典の終了後には、実行委員会主催で記念行事が行われ、抽選で選ばれた新成人が、成人を迎えた感想や将来の夢などを発表し、また、恩師からのビデオレターが紹介されました。



⑦



⑥



⑤



④

二十歳の主張



井上 慎さん(新町)

責任があり、周りに心配りができる人になりたいと思います。また、早く仕事でも一人前になりたいと思います。



桑原由佳莉さん(小清水)

地域に元気を与えられるような看護師になって絶対に絶対に西会津に帰ってきます。



五十嵐 圭さん(上野尻)

私は現在、関東の大学で環境について学んでいます。将来は教員として福島に戻り多くの生徒に夢や希望を与えていきたいです。



井上 優志さん(西原)

まだ成人を迎えた実感はありませんが、小学校の教師になるという夢を実現するため、日々努力していきたいと思っています。



渡部 嘉奈子さん(牧)

成人し、大人としての責任が生じたことを実感しています。現在、理学療法士を目指し大学に通っています。立派に自立できるように励みたいと思います。

【写真】

8 ページ

①成人証書を受け取る岩原隼さん[7町内] / ②記念品の贈呈を受ける原マリ子さん[高目] / ③誓いのことばを述べる星善之さん[漆窪]

9 ページ

④激励のことばを贈る恩師の江花明久さん [平成19年度西会津中学校3学年主任] / ⑤会場の模様 / ⑥二十歳の主張を行う新成人 / ⑦式典の前に行われた模擬選挙の投票

祝成人 出席者名簿から[敬称略]

【野沢地区】

1町内 須八大 藤島沼間沼城留黒井嵐五十五橋岩岩瓜小植佐久相風三玉八渡赤伊斎大渡長谷川
2町内 利泰夏浩永夕久垂知美 志 彩拓克大孝裕珠恭花幸知要 嘉奈未
3町内 紀斗樹之弥奈幸衣佳優綾保隼香也洋地義里理介絵郎佑平萌岳子希
4町内 西原 森萱 松下小島 西林 さゆりが丘 上小島 軽沢 上野尻
堀越 大久保牧安座

【尾野本地区】

西原 井大斎渡齋五坂成坂二西田三高薄佐佐目鈴 五伊石鈴長佐土佐大
上竹藤部藤嵐田本瓶田中留橋上藤藤黒木 嵐藤崎木川藤田原石
優清伸秀奈和雄美菜真 美一 南一純瑞悠 寛理悠 郁健将丈
志香明明美子介帆緒子寛紀矢悠平紀平紀香 圭朗沙太丈美斗和二
【群岡地区】

【新郷地区】

下野尻 坂川 木平 高目 窪賀屋 戸 中 向新 道下中宮小綱 東京都
五十嵐川登 原具桑星伊上二山小長谷川 久間上上上野部嵐海部
愛壮貴善菜 子則莉之太裕子佳花宣則 仁み慎奈知加勇恵樹之乃
マ貴由善裕智和由円智貴 嘉みな 伶宗裕 加直智志

【奥川地区】

佐久井井川井岡矢五荒荒渡

町では、町内の貴重な民俗芸能や伝統技術などを保存し、後世に伝えるため、新たに「伝承員制度」を創設した。
シリーズ2回目の今月は、つる細工の須藤一さんに話を伺った。

「つる細工を始めたのは、今から25年くらい前。地元の桐木の管理を引き受けたため、出稼ぎに出ることができず、冬期間でも作業ができる「つる細工」に着目し、編み方を教えてもらうため、熊沢の斎藤マツノさんのところに1週間ほど足を運び、技術を習得した」と須藤さんは、つる細工を始めたきっかけを語る。以来、須藤さんは「ざる」などを実際に編み上げながら、失敗を繰り返して独学で技術を高め、つる細工を続けてきた。

材料となるマタタビは、例年10月下旬から11月上旬の間に地元の沢などから1年で成長したものだけを採用し、冬まで乾燥させ、薄く4、5本に裂いてはじめて材料となる。「ざる」の縁や、「すいのう」の柄には「クマゴヅル（クマヤナギ）」を使う。

「年を取ったので、マタタビの採取に苦労するようになってきた。現在、屋敷、榎木平、熊沢の3自治区でつる細工を続けているのは数人で、作り手が本当に少なくなってしまう」と須藤さんは寂しさをにじませた。

毎年、冬になると、須藤さんは自宅脇の小屋の2階でつる細工の製作を開始する。ひとつ編み上げるのに、およそ

シリーズ

2

伝承員「技」紹介

▼つる細工で編み上げられた「ざる」や「すいのう」と材料の「マタタビ」(左端)



伝統技術・つる細工
すとう はしめ

須藤 一さん [榎木平]

「過去には、町内の地区老人クラブから講師の依頼があり、出向いたこともあった。無理に進めても続かないので、やってみたいという希望があれば伝えたい。昔は、ミノやテゴ、草履など農家では必要だったものを作っていた。つる細工を含め、こうした技術を残し伝えていかねばならない。そのために役に立ちたい」と、こうした技術を持つ人が年々少なくなる中、須藤さんは今後の抱負を語った。

最

後に須藤さんは、「マタタビの良い材料が少なくなってきた。また

年を取り、材料の採取が大変になってきたが、町内には「つる細工を覚えたい」という人がいる。伝承員として、つる細工の技術を守り、伝える活動をできる限り続けていきたい」と強調した。

1日半。妻のミヨシさんが手伝い、小屋で一緒に作業を行っている。
マタタビなどの材料がなかなか手に入らない理由から、都市部からの注文もあるという。
取材で訪ねた日、須藤さんは昨年採取した材料を水で戻し、実際に「ざる」を編んで見せてくださった。

作

業の中では、編み始めが一番難しい。さまざまな編み方があり、出来上がったときの達成感が何とも言えない」と須藤さんはつる細工の魅力を笑顔で語った。



町鳥獣被害対策実施隊を設置

町では、鳥獣による農林業の被害を防止・軽減するため、新たに鳥獣被害対策実施隊を設置しました。

この実施隊の隊員26名への辞令交付式が8月20日に町役場で行われました。

辞令交付にあたり伊藤町長は「町と実施隊の皆さんが連携した被害対策や捕獲業務の実施をお願いしたい」と訓示しました。辞令交付式終了後には第1回の打合せ会が開催されました。

実施隊は今後、鳥獣の出没状況調査や被害防止計画に基づく鳥獣捕獲などにあたります。

写真：副隊長の辞令を受け取る高橋秀雄さん[山口]

矢部忠夫さんに日本赤十字社「金色有功章」

このたび、日本赤十字社に多額の協力を行った矢部忠夫さん[中ノ沢]に日本赤十字社から金色有功章が贈られ、7月18日、町役場で有功章の伝達式が行われました。

式では日本赤十字社福島県支部西会津分区長の伊藤町長が「多額の協力をいただいたことに感謝します。奉仕団の皆さんの活動の励みになります」と章記と有功章を伝達しました。

矢部さんは受賞にあたり「昨年発生した東日本大震災の復興に役立てていただければ」とあいさつしました。



豊間小・西会津小が心の交流

いわき市立豊間小と西会津小の夏季交流が8月18日、19日に開催され、豊間小5年生の児童ら40名が来町しました。豊間地区は東日本大震災で被害を受けたため、今年度の夏季交流は本町で開催されました。

18日の歓迎式では、豊間小を代表し小野蓮さんが「2日間の交流で友達をたくさんつくりたいと思います」とあいさつ。2日間の交流学習では、野沢民芸品製作企業組合の指導による赤べこ張り子への絵付け体験のほか、仲間づくりゲーム、キャンドルファイヤーなどが行われ、両校の児童たちは西会津の夏を堪能し交流を通じ友情を深めました。

「21世紀シアター」初の西会津公演

全国からプロのエンターティナーが集まり喜多方管内で演劇や音楽などさまざまな公演を行う第13回の「2012喜多方発・21世紀シアター」の西会津公演が8月4日、西会津中学校で開催されました。

この西会津公演は、地元実行委員会のメンバーの尽力で今回初めて実現しました。

公演ではジャズピアニストの河野康弘さんがトークを交えながらコントラバス、ドラム、ギターとの協奏を披露しました。

客席のジャズファンの皆さんは、息のあったプロの演奏に魅了されていました。



みんなので献血「愛の助け合い」

LOVE in Action

献血された血液はどうなるの？

献血は、健康な人が血液を提供する身近なボランティアです。

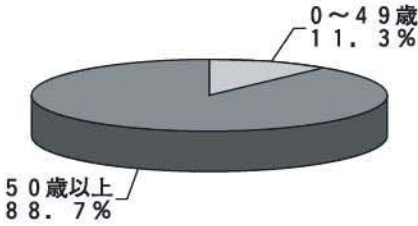
いただいた血液からは「血液製剤」がつくられ、この血液製剤の使用や、輸血によって、貧血の改善をはじめ、止血機能の回復、体内の血液量の補充などの治療が行われます。

輸血は、大けがをしたときに行われるものと思われがちですが、実際には、およそ9割がガンや血液などの病気の治療のために使用されています。

県内では、輸血を受ける方の89%が50歳以上となっており、近年は、医療の高度化などにより輸血量が増加傾向にあります。

県内の輸血を受ける方の年代割合

[平成21年データ]



献血の種類

◇全血献血

- 200ml 献血
- 400ml 献血

※200ml 献血は16歳から、400ml 献血は男性が17歳から、女性は18歳から献血できます。なお、体重、血圧、前回の献血との間隔などの基準があります。

◇成分献血

- 血しょう成分献血
- 血小板成分献血

※献血バスでは全血献血のみ実施しています。成分献血を希望される方は血液センターや献血ルームをご利用ください。



なぜ献血が必要なの？

現在の医療で「血液製剤」に代わる医薬品はありません。また、この血液製剤は、血液からしかつくることができませ

ん。さらに血液製剤は、赤血球が21日間、血小板はわずか4日間と長期間保存することができません。

輸血や血液製剤の使用を続けるためには安定的に血液を確保する必要がありますです。

このため献血バスによる定期的な献血が実施されています。

福島県では、県内の輸血用血液を県内の献血で賄うことを基本にしていますが、東日本大震災以降、県内では血液が不足

しており、現在は県外から供給されている状況です。

400ml 献血にご協力を！

献血には、全血献血(200ml・400ml)と成分献血があります。問診や事前検査の結果などにより異なりますが、可能な限り400ml 献血をお願いします。

血液はABO式血液型をはじめ、いくつもの型で分類されます。輸血等をする際は、このいくつかの型を確認し、その人にあつた血液や血液製剤を使用することによって安全の確保と体への負担をより軽減しています。

輸血時に、異なる200mlの血液を2本用いるよりも、400mlを1本使用し

の方が体への負担が少ないため、400ml 献血への協力を呼び掛けています。

400mlも採血して大丈夫？

人間の血液の量は、体重の13分の1ほどで、総血液量の12% (体重50kgの成人で約450ml) までは医学的に献血しても問題ないとされています。皆さんにお願いしている献血の量は採血しても安全な範囲内で定められています。

次回の献血日程は、9月25日・26日です。町民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

【問い合わせ先】

健康福祉課・健康支援係

☎ 45-4532

一回の「献血日程」

9月25日(火)

- 9:30～ 西会津町役場
- 13:30～ 交流物産館よりっせ

9月26日(水)

- 9:00～ 旧JA会津いいで自動車・農機センター
- 12:30～ ㈱アズール
- 14:00～ JUKI会津㈱

「いない！おし歯のない子

7月25日、3歳児4名を対象に健康診査を行った結果、むし歯のない子は2名でした。



しょうたろう 上野翔太郎くん (西林)



かれん 鈴木果恋ちゃん (森野)



8月24日の結団式で健闘を誓う選手の皆さん

がんばれ! 西会津町チーム

第6回市町村対抗福島県軟式野球大会

市町村の交流と地域の活性化、さらに東日本大震災からの復興を期すことを目的に、「うつくしま復興 ともに!」をスローガンとする第6回市町村対抗福島県軟式野球大会が、9月8日、福島市の県営あづま球場を会場に開幕します。

西会津町チームは、第2回大会から参加しており、今年で5回目の出場になります。1回戦は9月16日に棚倉町と対戦します。

今月号では、2年ぶりの勝利を目指す選手の皆さんを紹介します。

抱負



監督 伊藤 一男さん

棚倉町チームは強敵ですが、今年は若い選手と、経験豊富なベテラン選手がそろったチームになったため、個々の力を結集し初戦を突破できるようにがんばります。



主将 新田 佳男さん

西会津町の代表として、一回でも多く勝ち進めるように選手一丸となって、がんばりますので、応援よろしくお願いします。

選手の皆さん [敬称略]

監督	伊藤 一男 (下野尻)	捕手	笠間 義崇 (10町内)	内野手	佐藤 雅彦 (6町内)
コーチ	田中 英喜 (6町内)	内野手	井上 宗知 (道目)	〃	西田 裕 (安座)
〃	橋谷田和弘 (上野尻)	〃	赤城 圭泰 (堀越)	〃	斎藤 慎司 (尾登)
主将	新田 佳男 (芝草)	〃	薄 陽太 (西林東)	外野手	佐久間嘉仁 (向原)
投手	河瀬 治 (萱本)	〃	佐藤 広大 (6町内)	〃	齋藤 淳 (上野尻)
〃	安部 信仁 (安座)	〃	斎藤 勝利 (熊沢)	〃	渡部 暁 (2町内)
〃	滝口 慎 (堀越)	〃	伊藤 大輔 (出ヶ原)	〃	江川 正樹 (牧)
捕手	星光輔 (四岐)	〃	根本 史彦 (6町内)	〃	佐藤 健吾 (上野尻)



優勝した野沢チーム

町長旗争奪 野球大会

第44回を迎えた恒例の町長旗争奪野球大会が8月19日に、さゆり公園野球場で開催されました。

今年は4チームによる地区対抗のトーナメント戦で熱戦が繰り広げられました。決勝戦では野沢チームが群岡チームに勝利し優勝を果たしました。

大会当日は厳しい酷暑となりましたが、参加した選手は地区の代表として真剣にプレーしていました。

試合の結果は次のとおりです。

- ◇第1試合 野沢12―0奥川
- ◇第2試合 群岡6―5尾野本
- ◇決勝 野沢6―5群岡



町民バトンタッチ

おおいし じょうじ
大石 丈二さん [下野尻]

塚原 鉄也さん (8月号から) メッセージ
下野尻のホットラインということで、今後も絶妙なラストパスを待っています。

あなたの趣味は？
ショッピング・冬はスノーボード

特技は？
サッカー・フットサル

自分を一言で表現するとしたら？
わがまま

あなたのモットーは？
自分らしく

熱中していることは？
自分探し

最近感動したことは？
ロンドンオリンピック・サッカー男子の全試合

これからやってみたいことは？
早く20歳になって堂々と飲み屋に行きたい！

次の方を紹介してください
Y・Uさん (樟山)

「いつとこの2人です」
「2人(右写真中央)が生まれてきてくれたおかげで、にぎやかです。本当に癒やされます」



町民 ギャラリー

まんさく俳句会

また一戸空き家となれり花いばら
夏の日の萎れる花に容赦なく
一椀に野菜あれこれ泥鰯汁
白い雲すこし残せる晩夏かな
干し物をぼんぼん叩き晩夏かな
片蔭やどたり足投げ輪に集ふ
孫生まれる晩夏の声の電話口

五十嵐照子 (原)
佐藤 ノシ (極 入)
長谷川清子 (下小屋)
矢部 モト (九町内)
山口ありさ (上野尻)
矢部 征男 (松 峯)
和久井正己 (十町内)

聞いて！ わたしの夢

ここでは西会津中学校の生徒の皆さんに、自分の思い描いている夢や目標などを話していただいています。

今月は、2年・生徒会会計の
いしはしれな 磴 滯風さんです。

わたしの夢——

「私は将来、国語の教師になりたいと思っています。そのように思ったきっかけは、私の父が社会の教師だったからです。私は『父のような人になりたい』とずっと思っていて、父を尊敬しています。自分の好きな社会を父は教えていました。私は国語が好きなので国語の教師になりたいと思いました。みんなと楽しく授業ができる先生になりたいです」



努力していること——

「国語の授業では、文章を書いた人の気持ちになりながら本や教科書を読むので、日常生活の中で相手と話すとき、相手の気持ちを考えながら会話をしています」

最後に未来の自分に一言——

「将来の私は、授業で困っていませんか。また生徒や先生と上手に接していますか。いつもの笑顔で毎日がんばってください」

まちの人口 ～8月1日現在～ (前月比)

人口	7,516人	(-7人)
男	3,616人	(-10人)
女	3,900人	(+3人)
世帯	2,811世帯	(-2世帯)

戸籍の窓口 ～7月受付分～ <敬称略>

お誕生おめでとう

伊藤 風^な汐^ぎくん 健治・智美 西原
五十嵐 陽^{ひなた}太くん 竜太・江里子 西林東

お悔やみ申し上げます

山本 キイ子 (91) 文男 母 7町内
楢間 勝衛 (82) キン子 夫 8町内
高橋 文男 (86) 健助 父 9町内
有賀 キン子 (84) 由広 母 大久保
石川 吉年 (86) キミ子 夫 安座
海沼 勝 (81) 茂子 夫 荒木
薄 喜一 (86) 俊一 父 新村
薄 忠子 (96) 清 母 新村
長谷川 力雄 (83) 富保 父 出戸
荒海 エン (92) 健 母 真ヶ沢
荒海 正則 (49) 幸三 兄 極入

町学校医等に感謝状

町内の児童生徒の健康増進と健康教育のため長年にわたり学校医等として尽力された小林貞夫さん、二瓶文子さん、丹藤康雄さんに、このたび感謝状が贈られました。

小林 貞夫さん
新郷小学校他学校医
昭和61年4月1日～
本年3月31日[26年]



二瓶 文子さん
野沢小学校他学校歯科医
平成2年4月1日～
本年3月31日[22年]



丹藤 康雄さん
野沢小学校他学校薬剤師
昭和37年4月1日～
本年3月31日[50年]



「就業構造基本調査」を実施します

総務省統計局では、10月1日現在で「就業構造基本調査」を実施します。

この調査は、国民の普段の就業・不就業の状態を詳しく把握することにより、雇用政策をはじめ経済政策などに必要な基礎資料を得ることを目的に行います。

調査の対象世帯は西原の一部、森野、萱本地区から抽出されます。

調査の対象となる世帯には、統計調査員が伺い調査票の記入をお願いしますのでご協力ください。

【問い合わせ先】 企画情報課 ☎45-4536

町議会臨時会 報告

町議会臨時会が8月8日に開かれ、平成24年度の補正予算など議案3件について審議され、いずれも原案のとおり可決されました。

【可決された議案】

- 平成24年度町一般会計補正予算—町税過誤納返還金および本年7月の豪雨による農地等の災害に係る測量設計費300万円の増額
- 町道野沢柴崎線道路改築工事請負契約の締結
- 財産の取得—消防ポンプ自動車1台

以下は広告です。内容については、広告主へお問い合わせください。

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

- ◆大きさ 1枠当たり縦4.0cm×横8.5cm
- ◆掲載料 1枠当たり5,000円/月

【問い合わせ先】

企画情報課・広報広聴係 ☎45-4536

飯豊連峰の豊かな自然

飯豊本山と御西岳の間ではニッコウキスゲが一面を黄色に染め、また、至る所で花々が短い夏を惜しむかのように咲き競い、登山者は足を止めカメラに収めていました。

こゆりちゃん トピックス



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨

①切合小屋から望む大日岳／②・⑥満開のニッコウキスゲ[飯豊本山・御西岳間]／③・⑦ミヤマシシウドなどの花々／④オトメユリ／⑤イデリンドウ／⑧草履塚から望む御秘所／⑨オンバ様の石像



今月の表紙

「いいでの集い」の参加者の皆さんは、2日目の7月28日、切合小屋から草履塚、難所の御秘所を越え2,105メートルの飯豊本山を制覇しました。

広報にしあいづ

2012 (平成24年)

9月号

発行：西会津町 編集：企画情報課
☎0241-45-2211 (代表)
info@town.nishiaizu.fukushima.jp
http://www.town.nishiaizu.fukushima.jp/



この広報紙は、環境に優しい大豆油インキを使用しています。